

事務事業名	保育所施設整備事業		所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課									
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	子育て支援グループ		課長名 田中 孝治									
施策名		(22)子育て支援の充実	担当者名	多根 英志	電話番号(内線)	0854-40-1044 3626									
基本事業名		(064)子育て環境の充実	予算科目	会計	款	項	目								
				0	1	1	5	1	0	1	5	7	7	中事業	保育所施設整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(22年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	市内私立保育園(社会福祉法人)に対し、施設整備に係る事業費を雲南市社会福祉施設設備整備費補助金交付要綱に基づき交付する。 平成23年度においては、あおぞら保育園(社会福祉法人あおぞら福祉会)での空調改修を行い保育環境の整備を図った。	施設整備に対し国及び県の補助制度に基づき交付している。 H23保育所緊急整備事業費補助金(安心子ども基金)を活用

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)		事業費						
市町村補助額:4,606千円(事業費全体:6,155千円)	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円		3,676	3,070		
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		2,146	1,536		
		事業費計(A)	千円	0	5,822	4,606	0	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)		人件費						
補助金申請の審査、決定、交付、支払		正規職員従事人数	人	4	4	4		
		延べ業務時間	時間	445	445	445		
		人件費計(B)	千円	1,697	1,730	1,754	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,697	7,552	6,360	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
23年度実績(23年度に行った主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> 事業の決定審査 補助金申請の審査、決定、交付、支払 整備に係る入札等立会、指導監督等 	⑤活動指標							
		ア 補助金支払回数	回	0	1	1	-		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
24年度計画(24年度に計画している主な活動)									
-									

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
児童福祉法第24条の規定による保育の実施対象児童、市内私立認可保育所数	施設整備等による入所児童の処遇改善	⑥対象指標							
		ア 市内私立認可保育園在籍児童数(3月末)	人	251	260	260	-		
		イ 市内私立認可保育園	箇所	3	3	3	-		
③意図(対象がどのような状態になるのか)	施設整備等による入所児童の処遇改善	⑦成果指標							
		ア 事業実施保育所数	箇所	0	1	1	-		
		イ							
上位目的	子どもが心身ともに健やかに育つ。 子どもを持つ保護者が安心して子育てができる。	⑧上位成果指標							
		ア 子育てしやすいと感じる市民の割合	%	40.5	51.1	61			
		イ 自分の子どもが心身ともに健全だと感じる保護者の割合(子ども;18歳以上)	%	88.5	89.9	90			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
施設整備費に係る国基準の改正、見直し等が実施されている。市内公立・私立含め保育所の老朽化による大規模修繕箇所が増えている。	保育ニーズに対応するため国基準に基づき実施している。	保護者からは「子どもが過ごしやすい環境にしたい」、「補助先からは「法人単独での大規模修繕はできない中、助成制度があり助かっている」等の声もあった。

事務事業名	保育所施設整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 保育環境の促進→子育て支援の充実→子育てのしやすい環境をつくる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 雲南市行財政改革大綱では民間活力の導入を掲げており、私立認可保育所の自己資金+補助金による施設整備を支援することは妥当である。 また、国の交付金等保育所施設整備に係る対象は民間保育所のみである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 私立保育所からの申し出(施設整備計画の提出)により、老朽度や待機児童数等を勘案し、実施する
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 負担割合や事業内容については、補助基準に準じ交付している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 子育て環境の充実が図れない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 負担割合や事業内容については、補助基準に準じ交付している。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 保育所設置基準や消防用設備設置基準等に基づき整備を計画している
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金交付事務のため、削減の余地はほとんどない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 利益追求の無い社会福祉法人に対する補助金であり、国の制度に沿っているほか、現状の保育ニーズ、需要に対応していることから公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	利用者からも評価の声があった。引き続き、国規準に準じ、市補助交付要綱に基づき実施していきたい。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								